

大甕小学校通信

令和2年6月9日（火）

文責：校長 佐藤 伸洋



▲図書委員会の活動

昼休み時間の一部を利用して先週から貸出を始めており、ファイルへの記録の仕方を伝えています。



▲第二図書室(2階)の様子

1年生もお気に入りの本を探して借りようと足を運んでいます。

教育活動の中で育まれる成長の姿…

教室めぐりをしている際に、1年生の様子から目と耳に入ってきた、変容に関する情報をいくつか紹介します。

○先生の話を聴く姿勢が上手になってきている。

（ここでの姿勢は、心構えや身体そのものという意味です。）

○よい行動に関する呼びかけをする児童が多くなってきている。

○次の活動の準備を短時間で行えるようになってきている。

○集中して活動する時間が少しずつ長くなってきている。

以上のような姿は他の学年でも見られ、前年度よりさらに成長しているとの情報も得ています。1年生のお手本になろうとする2年生、先生とのやり取りの中で明朗・快活に活動する3年生、「縦割り班清掃」「児童会委員会活動」で、自分のためだけでなく、みんなのために活動する4～6年生、どの姿を取り上げても、素晴らしさと素敵さを感じます。これらは、学校再開以後少しずつ積み上げてきた教育活動の成果の一つとしてとらえています。

年度当初「みんなで大甕小学校をつくっていくこと」の話をしました。「学校づくり」は大きくとらえれば、これまでの歴史や伝統に今年度の分を刻んでいくことを含みます。様々な教育活動の中で、自分のために、そして、みんなのために努力を続けてやり抜いたその足跡を残すと同時に、年度当初と比較してよりよい変容に結び付けていくことにほかならないと考えています。今後も学校の役割を果たしてまいります。お子さまの成長のためには、ご家族の皆様のご理解とご協力は必要不可欠となりますので、引き続き、見守りや励まし等をよろしくお願いいたします。

「新しい生活様式」を踏まえた家庭での取組について(依頼)

■公益社団法人 日本PTA全国協議会等に対し、文部科学省 各担当局担当課から取組の協力を呼びかけていただきたいという趣旨で6月1日付け「事務連絡」が発出されました。

■「保護者の皆様へ」の文書は裏面に掲載いたしますので、目を通してくださいますようお願いいたします。

■新型コロナウイルス感染症対策専門会議

「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」から抜粋（参照）

■「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

（●感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い ●移動に関する感染対策）

(2) 日常生活を営む上での基本的な生活様式

(3) 日常生活の各場面別の生活様式

（買い物、娯楽・スポーツ等、公共交通機関の利用、食事、冠婚葬祭等の親族行事）

(4) 働き方の新しいスタイル（●業種ごとの感染拡大防止ガイドラインは別途、関係団体が順次作成）